

政府の情報発信に批判

新型コロナウイルス

新型ウイルスをめぐり、政府による国内外に向けた情報発信の脆弱さが課題として浮上している。国内では度重なる外出自粛要請にもかかわらず若者が繁華街へ繰り出し、スーパーでは生活必需品の買いだめが起きた。海外からはクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」への対応で一時的に批判を浴び、与党内でも情報発信のあり方に改善を求める声が上がっている。(沢田大典)＝1面参照

政府や東京都からの情報発信と効果



菅義偉官房長官

トイレットペーパーはほとんどが国内生産で在庫も十分(3月3日)

→ 品薄は完全には改善せず

花はめでても、宴会は遠慮いただきたい(4日)

→ 20～22日の3連休に都内の公園に花見客が集まる

何もしないで推移すればロックダウン(都市封鎖)を招いてしまう。週末の外出自粛を(25日)

→ 若者を中心に繁華街に人。28、29日の週末は外出者減

大規模イベントは主催者がリスクを判断して慎重な対応が求められる(20日)

→ さいたま市内で格闘技イベント「K-1」に約6500人が入場



小池百合子都知事



安倍晋三首相

クルーズ船対応後手 買いだめ止められず 強制力ない自粛要請

「政府は、国民に対する正確で分かりやすく、かつ状況の変化に即応した情報提供や呼びかけを行い、行動変容に資する啓発を進めるとともに、冷静な対応をお願いする」
政府は3月28日、新型コロナウイルスへの対応の指針を定めた「基本的対処方針」を決めた。重要事項の最初の項目に「情報提供・共有」を挙げ、こう記した。トップに持ってきたのは、うまくいっていないことの裏返しともいえる。

3月20、22日の3連休には東京都内の公園に花見客が押し寄せた。米紙ニューヨーク・タイムズ電子版は26日、小池百合子都知事の宴会自粛要請をの陳時中指揮官は、陳氏も語った。

「公衆は今のところ真剣に受け止めていない」と報じた。トイレットペーパーや食品も、菅義偉官房長官が「十分な供給力がある」と冷静な行動を呼びかけたが、品不足への危機感から買いためはやまなかった。危機管理に詳しい自民党の青山繁晴参院議員は、政府の発信について「全体的に回数も量も、そして質も全部足りない」と指摘。同時に「記者会見に専門家に出席してもらおう。最前線に実際に携わって動きが分かる、行政も分かっている国会議員が毎日、質問が来るまで行っべきだ」と語った。念頭にあるのは、台湾の中央感染症指揮センターの陳時中指揮官は、陳氏も語った。

新型コロナウイルス対策の司令塔のほか、長時間の記者会見を担っている。クルーズ船対策に関しては、当初「疫病船 隔離計画の不手際が、中国以外で最大の感染拡大をどのようにもたらしたか」(2月18日英紙サン電子版)などと批判が目立った。

外務省出身の自民党の松川るい参院議員は「対外発信としては極めて稚拙だった」と振り返る。松川氏は「乗客は日本人が多いが英国船籍。米国の企業がオペレートしており、日本に責任はなかった。背負い込まず、諸外国に『どうしますか?』と聞いていれば、『ありがとう』となっていた」と指摘する。「隔離が効果的な面もあったので、どういう方針でやっていたのか、内閣広報官などが英語で発信した方がよい」とも語った。